通常号定価 1部100円(消費税込み) 年間購読料 3,000円(送料含む)

The Democratic Party of Japan

平成9年4月25日 第3種郵便物認可

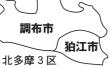


2006年5月31日 民主号外 調布・狛江版 民主党プレス民主編集部 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1 電話の3-5955-9888 (代表)

民主党東京都第22区総支部

〒182-0024 調布市布田2-30-4 電話・FAX 042-485-6687

http://www.ozakidaisuke.com e-mail: ozaki-dai@luck.ocn.ne.jp



東京都議会議員 民主党第22区総支部幹事長

尾崎

おざきだいすけ

都議会レポート vol.11



「花粉の量を10年間で2割削減」 花粉症対策が本格化始動! 次は多摩産材活用、団塊世代の大量退職に向け、新提案準備中!

皆様いかがお過ごしでしょうか。2月22日から始まった都議会第一定例会は3月30日に閉幕を致しました。今議会は平成18年度予算を決定する重要な議会で、目玉としては2016年に行われるオリンピックを東京に招致をするかどうか、都議会民主党としてどういう立場でのぞむのかが焦点でした。この問題については、都議会民主党として招致問題プロジェクトチームを立ち上げ様々な議論を行って来ましたので詳しく報告致します。

また、尾崎大介が公約として掲げていた「花粉症対策」が今年度から東京都として本格的に動き出すことになりました。10年かけて針葉樹を伐採し広葉樹に植え替える針広混交林化政策を実施し、花粉症の原因を根本から根絶します。

喫緊の課題としては2007年問題です。今年度の東京都予算は、税収増に支えられ、5年ぶりに6兆円を



超えましたが、来年度の団塊世代の大量退職を目前にし、行政としてどういった支援を行っていくのかという、単年度を超えた、東京の将来ビジョンの策定を求めていきます。

東京都議会議員尾崎大介

6月 尾崎大介本会議質問決定!!

6月開催予定の都議会において、尾崎大介が本会議で初質問に立つことが決定致しました。 つきましては、傍聴と都庁展望台見学などのツアーを予定しております。

参加ご希望の方は日程等をお知らせ致しますので、下記までご氏名・ご住所・お電話番号をご連絡ください。

連絡先:尾崎大介事務所 TEL/FAX 042-498-8030

オリンピックの行政で徹底審議!予算議会に新国を吹き込む 徹底した尾崎大介の現場主義で、大阪市・福岡市の現地調査

2016年のオリンピック招致を表明している東京都が、初めて計画の一端を示しました。知事は議会の冒頭で「日本の底力を世界に示す」と述べ、競技施設など約50箇所に及ぶ検討候補地図や一千億円の基金準備を発表しました。しかしその全体像は6月末の開催概要計画書の完成までは明らかにされないようです。スケジュール的には、今議会での決議の議決が必要になり、私達民主党は、東京都の説明が不十分ではあるものの、今後の議論が深まる事を期待し、賛成しました。結果は賛成多数の可決です。





民主党は昨年からオリンピック招致の是非を検討するためプロジェクトチームをつくり、検討をしてきました。現場主義で臨む尾崎大介は、2008年大会に立候補した大阪市や今回のライバル候補市である福岡市を視察しました。

決議の前には民主党として、「オリンピックを理由とした過大な社会資本整備は行わない事」「都民への説明責任を果たす事」等、6点を申し入れを行いました。

多くの人が賛同できる東京オリンピックを目指して、これからも活発な議 論と提案を行っていきます。

信頭できる

東京都民の意識調査の一環で、今一番関心があるのは防災・安全対策だといわれております。東京都では、木造住宅の耐震改修の実施例や地震から命を守るための装置を都庁で展示する会を開催(3月24日~30日)しました。昭和56年以前の古い耐震基準で建てられた木造住宅は、大地震時に倒壊する可能性が高いといわれております。各自治体においては、耐震診断・改修に関する助成や、耐震診断技術者の派遣等も行っております。お気軽にご相談ください。



装置部門(展示品例)

防災ベッド…ベッドを安全空間にするシェルター 銅鉄製のフレームを丈夫に取り付けたベッド 寝ている人の身をたっか物から守る 設置は1階に限定

無料法律相談実施中

山花いくお後援会主催で、弁護士による無料法律相談を行っています。ネットワークを組んでいる法律事務 所から毎月第1・3土曜日出張してもらい、月2回ほど実施しております。「相続・離婚・交通事故・破産等」 お困りの方はお気軽にご相談ください。弁護士があなたにあった解決策を提案します。

お申し込みの方はお電話での予約が必要になりますので、下記の電話番号まで、お気軽にご連絡ください。

●受付窓口 山花いくお後援会 TEL/FAX 042-485-6434

委員会質問で都のリサイクル率を追及!

環境世紀に向けた意識改革を!

尾崎委員 地球温暖化など、環境問題が非常に深刻さを増している昨今、今般水道局から出された平成 17年度版の環境報告書について何点か伺う。環境保全に投入するコストと環境保全対策に伴う経済効果の両者を比較すると、平成 13年度から 17年度まで 0.26 ポイント漸減している。この漸減傾向をどのように認識しているのか。

水道局 環境施策に関する費用対効果は5億円減少しており、屋上緑化などその効果を定量的に金額換算できない社会活動コストが増大しているためと思われます。

尾崎委員 環境施策は単純に費用対効果だけで採否を決められないのは理解している。環境保護のため、経済効果が上がらなくても実施せざるを得ないものもある。困難ではあるが、両者のバランスをとって進めて頂きたい。次にこの報告書では、屋上緑化の推進、リサイクル率の向上等、4つの項目に×がついていて、都民の模範となるべき行政が目標を達成できてないのは問題ではないか。



水道局 リサイクル率の向上については、各事業所において ごみの分別方法の掲示を重視するなど、取組の徹底を図り、 今年度末の達成率は上昇する見込みです。他の項目につい ては、ご指摘の通り、今後も目標達成を目指し、全力で取 り組んで参ります。

尾崎委員 事業所に対して取組を徹底して図っているとの事だが、遅きに失している感がぬぐえない。今後は都民の模範となるような取組を率先して行っていただきたい。

総合的な花粉症予防・治療対策と根本原因の対策を推進!

18年度の予算では、都の重点取組として、「花粉症対策」が本格化に始動します。都民の4人に1人が花粉症患者だという事から、対策は急務です。

尾崎大介が活動している NPO 法人日本エコクラブでも、花粉原因のスギの木を伐採し、どんぐりの木に植え替えるため、民間から基金をつのる「どんぐり銀行」運動を展開してきました。そうした取組や運動の成果もあり、今般東京都でも「花粉の少ない森づくり募金」をはじめる事が決定しました。また、10年プランの針広混交林化政策(針葉樹と広葉樹を植え替える)が始まる事を受け、伐採した多摩産材の利用促進のため、金融機関による住宅ローンの優遇制度が実施されます。

◆山花いくお活動報告◆ 消防行政・防災公園を視察

22区の政策調査会のメンバーとともに、消防行政についての勉強会と、防災公園の視察を行ないました。

消防組織法によれば、消防行政は市町村の責務とされていますが、東京都の場合、ほとんどの自治体が東京消防庁に委託をしています。多摩 26 市 3 町 1 村のうち、稲城市と東久留米市だけが単独消防本部を設置しています。

防災公園については、調布市などでも、最近話題になっていますが、スペースの確保など、あらゆる自治体で類似のものが造れるかというと、疑問があります。自治体ごとに検討すべき課題で、直ちにトレンドを追うことができるかどうか?そういう意味で、いい勉強になりました。







「春の交通安全運動|

今年もまたPTAのお母さん方と一緒に交差点や踏切で一週間ほど旗振りの手伝いをさせて戴きました。

さくらの花の散る中、黄色い帽子の一年生達が元気に登校する後ろ姿を見送りながら、ふと60年前、滝坂小学校へ入学した頃を思い浮かべていました。その頃の調布は戦争も終わり、のどかな農村に戻っていました。その頃のように安心して通学したり安心して走り回れる、そんな地域を作ってやれたらと。今の子供達にはあまりに危険が多すぎます。

飛田給駅踏切内で車と学童達のわずかな隙間を自転車に乗った大人が擦り抜けていく、また通勤を急ぐ大人に突き飛ばされたりと、それが毎日繰り返されているのです。昔のように周囲の大人達が、親類の小父さん小母さんのようにやさしく時には厳しく見守ってやれる地域、いや、そんな日本の国にして、子供達に渡してやりたい。

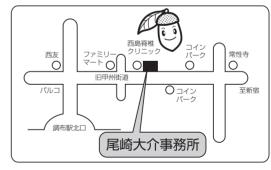
そんな思いは大きな夢でしかないのでしょうか。

(調布市飛田給在住 田村 真)

都政に対するご意見ご要望は ぜひ尾崎大介までお寄せ下さい。

尾崎大介事務所のご案内

〒182-0024 東京都調布市布田2-30-4 TEL&FAX 042 (498) 8030 Mail:ozaki-dai@luck.ocn.ne.jp URL:http://www.ozakidaisuke.com



尾崎大介プロフィール

- ●1974年2月15日生まれ
- ●日本大学農獣医学部卒業
- ●一般企業入社後、サラリーマンを経て、 第42回総選挙の山花郁夫選挙に関わり、公設第一秘書となる。
- ●NPO法人日本エコクラブ(環境)の設立に参画

(現 在)

- ●NPO法人日本エコクラブ 参与 DAIGOどんぐり銀行調布支店長
- ●調布市飛田給に妻と在住
- ●2005年7月
 - 第17期東京都議会議員選挙初当選
- ●民主党調布市支部支部長
- ●民主党東京都第22区総支部幹事長

(都議会)

- ●公営企業委員会 常任委員
- ●東京都自然環境保全審議会委員
- ●北多摩南部地域保健医療協議会特別委員
- 東京都農業共済保険審査会委員
- ●FC東京をサポートする議員連盟委員
- ●東京都議会オリンピック招致推進 議員連盟委員
- ●東京都議会花粉症対策推進議員連盟委員